

2014年7月15日

報道関係各位

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会
 委員長：青野 慶久
 運営事務局：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

U-22プログラミング・コンテストの応募開始と 審査委員会推薦でIPA 未踏事業の一次審査が原則通過！！

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催する U-22プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、7月1日より応募作品の受付を開始しました。応募締め切りは8月22日で、以降事前審査/一次審査を経て10月5日の最終審査会へ進みます。

■U-22 プログラミング・コンテスト 2014 審査スケジュール（概要）

7月1日(火)～8月22日(金)	応募期間
8月25日(月)～9月19日(金)	事前審査、一次審査
10月5日(日)	最終審査会・特別講演・各賞発表 ※一般聴講可能
10月6日(月)	大臣賞／局長賞 表彰式（情報化月間記念式典(予定)）
10月7日(火)～10月11日(土)	CEATEC JAPAN 2014にて入賞作品展示

また、本コンテスト表彰者の特典として、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が行っている未踏 IT 人材発掘・育成事業（以下「未踏事業」）において、本コンテスト審査委員会より「特に未踏にふさわしいクオリティと発展性をもつ」と推薦を受けた表彰者が未踏事業に申請した場合、書面による一次審査は原則通過となり、二次審査（ヒアリング）に進めることとなりました。



■未踏事業への推薦について

本コンテストでは、経済産業大臣賞をはじめとする多くの表彰を予定していますが、「特に未踏にふさわしいクオリティと発展性を持つ」と審査委員長名による推薦を受けた表彰者が2015年度未踏事業公募に応募した場合、一次審査は原則通過とし、二次審査に進めることとなりました。

審査委員会が推薦する際の「ガイドライン」は以下の通り

- ▶ U-22 プログラミング・コンテストでの成果を更に発展させた提案（基本的にU-22受賞時とは別、あるいはランクアップさせた提案）に、未踏事業で認められる価値・意義があると予想されること。
- ▶ 推薦候補者が、未踏事業に提案できる高い基礎的な能力、提案実現に関する訴求力、積極的な将来展望（ブラッシュアップしてビジネス展開を図る。オープンソフトとして世の中に資する、等）を持っていると認められること。すなわち、人物として高いポテンシャルを持っていると認められること。

※本件に関するお問い合わせは下記連絡先までお願い致します。

■問い合わせ先

U-22プログラミング・コンテスト運営事務局
 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 E-mail: U22-info@csaj.jp
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル 4階
 担当：小林、若生（わこう）
 TEL：03-6435-5991 FAX：03-3560-8441 <http://www.u22procon.com/>

参考資料

■ 「U-22 プログラミング・コンテスト」について

<http://www.u22procon.com>

ー日本のプログラミング学習熱を高めようー

プログラミングが社会に革新を起こしています。書店はオンライン化され、何十万冊の中から瞬時に好きな本を探して買えるようになりました。メディアもオンライン化され、自分が読みたい記事をいつでもどこでも読めるようになりました。これらはすべて「プログラミング」が起こした革新です。

すべての産業でプログラミングが必要とされ、すべてのサービスがプログラミングによって進化しています。米国では大統領がプログラミング教育の必修化を呼び掛けており、今後もさらに重要性が増すでしょう。

日本でもプログラミングをする若者を育てていかなければなりません。U-22 プログラミング・コンテストは、そういった自らプログラミングを学び、日本の未来を創る若者を応援し、発表、表彰する場を提供していきます。

1. 優れた才能を持ったイノベティブな IT 人材の発掘と育成
2. 単にプログラムのできる人材ではなく、アイデアに富んだソフトウェア開発に取り組む人材を発掘
3. 歴史あるプログラミング・コンテストの継承と発展

1980年から34年間にわたり経済産業省が主催してきた「U-20プログラミング・コンテスト」が、今年度、新たに応募対象者を U-20（20歳以下）から U-22（22歳以下）に拡大し、「U-22プログラミング・コンテスト」として開催される。主催は協賛企業で構成される「U-22プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長 青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）」、運営事務局は一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称 CSAJ、会長 荻原紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長））で歴史を引き継ぎ実施する。

■ IPA「未踏 IT 人材発掘・育成事業」について

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/about.html>

未踏事業は、突出した若い逸材（スーパークリエイター）を発掘・育成する IPA の事業。成果物（作品）の顕彰ではなく、**PM 独自の観点**で審査・指導・助言し、突出した若い IT 人材を発掘・育成するもの。

IT を駆使してイノベーションを創出することのできる独創的なアイデア・技術やビジネスシーズの資質・素養を有する若い個人を発掘・育成。
プロジェクトマネージャー（PM）の独自の眼力による提案内容の審査、提案テーマの選定、クリエイターへの指導・助言、プロジェクトの進捗管理、成果の評価等を実施。

【未踏事業審査方法】

PM の独自の観点・判断で審査、採択。

(1) 一次審査（書面）

PM が提案書全件を書面審査し、二次審査への通過提案テーマを選定。

(2) 二次審査（ヒアリング）

二次審査対象となった提案テーマについて、提案者自らがプレゼンテーションを実施。その結果を踏まえ、各 PM が独自の観点・判断で採択テーマ候補を選定。

(3) 採択

採択テーマ候補について、未踏事業審査委員会、IPA 理事会の審議を経て採択テーマを決定。

以上